

平素より大変お世話になっております。
このたび小社では、標記の書籍を刊行する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

世界的アーティスト・草間彌生のこれまでを網羅する、
圧倒的スケールの決定版！
世界巡回をして大きな話題を呼んだ
大回顧展の公式図録、待望の邦訳！

草間彌生 1945年から現在



株式会社青幻舎は、『草間彌生 1945年から現在』を4月下旬に刊行しました。本書は、2022年から2023年にかけて香港の美術館「M+」で開催され、のちに巡回した大回顧展「Yayoi Kusama 1945 to now」の公式図録の日本語版です。

本書への取材などご要望がございましたら、下記担当までご一報下さい。何卒よろしく願い申し上げます。

株式会社青幻舎 東京支社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-3-6F

TEL 03-6262-3420 / FAX 03-6262-3423

広報担当・太田 | oota@seigensha.com

■ 書籍概要

世界的な評価を獲得した稀有な芸術家の一人、草間彌生(1929-)は、その80年にわたるキャリアにおいて、幅広く、かつ多様な活動を通して世界中の観客と深いつながりを築いてきました。

本書は、これまでに開催された中でもっとも包括的な展覧会「Yayoi Kusama 1945 to Now」(2022~2023年M+[香港]、ビルバオ・グッゲンハイム美術館[スペイン]、2024年セラルベス現代美術館[ポルトガル])のカタログの完全日本語版です。第二次世界大戦の終戦を迎えた1945年を起点に、現代に至るまでの唯一無二の草間の歩みを400ページにおよぶ圧倒的なボリュームでたどります。

作品は6つのテーマ(「無限」「集積」「バイオコスミック(The Biocosmic)」「ラディカル・コネクティビティ(Radical Connectivity)」「死」「生命の力」)に分けて構成され、草間が10歳前後に描いた初期のドローイングから〈無限の網〉などの代表作、そして近作の大型絵画シリーズ〈わが永遠の魂〉まで300点を超える図版を掲載します。

さらに「著作選集」として、エッセイや詩、ステートメント、小説など、初期から現在までに執筆された膨大な著作の一部を抜粋して掲載。また、多くの資料写真を含む詳細な年譜や草間の展覧会を担当してきた世界のキュレーターによる鼎談も収録した、充実の内容です。

現代美術を語るうえで欠かせない存在となった前衛芸術家・草間彌生の驚くべき作品群を明らかにする一冊です。

INFINITY	無限 38
ACCUMULATION	集積 66
THE BIOCOSMIC	バイオコスミック 90
RADICAL CONNECTIVITY	ラディカル・コネクティビティ 126
DEATH	死 152
FORCE OF LIFE	生命の力 176

■ 書誌情報

発売:2026年4月下旬

書名:草間彌生 1945年から現在

編集:ドリアン・チョン、吉竹美香

翻訳:田辺希久子、松尾真奈美

判型:A4変

総頁:400頁

製本:上製

定価:11,000円(本体10,000円)

ISBN:978-4-86831-006-8 C0070



■ 編者プロフィール

ドリアン・チョン (Doryun Chong)

アジア初の世界的な視覚文化美術館、M+(香港)の副館長兼チーフ・キュレーター。2013年、M+の初代チーフ・キュレーターに就任。以来、常設コレクション、展覧会、学習活動、出版物、デジタルコンテンツなど、キュレーションとコンテンツに関するすべてのプログラムと活動を統括している。またM+の学際的なキュレーターチームとともに、2021年11月のグランドオープンに向けて、革新的な一連の展覧会、展示、委託制作の実施を指揮した。M+以前はニューヨーク近代美術館、ミネアポリスのウォーカー・アート・センターなどに勤務。高く評価された展覧会に「Tokyo 1955-1970」(MOMA、2012年)、「Tetsumi Kudo: Garden of Metamorphosis」(ウォーカー・アート・センター、2008年)、「House of Oracles: A Huang Yong Ping Retrospectives」(ウォーカー・アート・センター、2005年)などがある。『M+ Collection Highlights』(2022年)の共同編者。

吉竹美香 (よしだけみか)

戦後日本美術を専門とする米国在住の美術史研究者、インディペンデント・キュレーター。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)で美術史の修士号と博士号を取得し、その研究は国際美術評論家連盟(AICA)賞を受賞した展覧会「Requiem for the Sun: The Art of Mono-ha (太陽へのレクイエム:もの派の美術)」(2012年)へと結実した。ハーシュホーン美術館・彫刻庭園(ワシントンD.C.)のキュレーターとして「Yayoi Kusama: Infinity Mirrors」(2017-2019年)を企画し、北米5カ所の美術館を巡回して大成功を収めた。ゲスト・キュレーターとしての展覧会には、ニューヨーク植物園での「KUSAMA: Cosmic Nature」(2021年)、ロサンゼルス・カウンティ美術館(LACMA)での「Yoshitomo Nara」(2021-2022年)、ロサンゼルス市のハマー美術館での「Breath(e): Towards Climate and Social Justice」(2024年)などがある。

■本書の内容

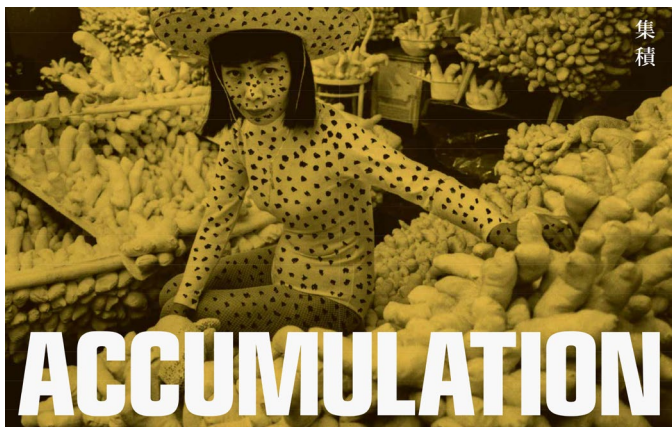
◆表現の核心に迫る「6つのテーマ」

その長きにわたる制作活動を、作家性を象徴する「無限」「集積」「バイオコスミック(The Biocosmic)」「ラディカル・コネクティビティ(Radical Connectivity)」「死」「生命の力」の6つのテーマに分類し、紹介。絵画、立体作品、インスタレーション、映像、パフォーマンスなど、草間の多様な表現活動に通底するものに迫ります。

無限 (Infinity)



集積 (Accumulation)



バイオコスミック (The Biocosmic)



■ 広報用画像

本書は海外版元との共同出版につき、提供可能な高解像度データは以下の3点になります。出版契約の都合上、低解像度となりますが、本文の見開き画像をご提供することも可能です。ご希望の際は広報担当までお問い合わせください。



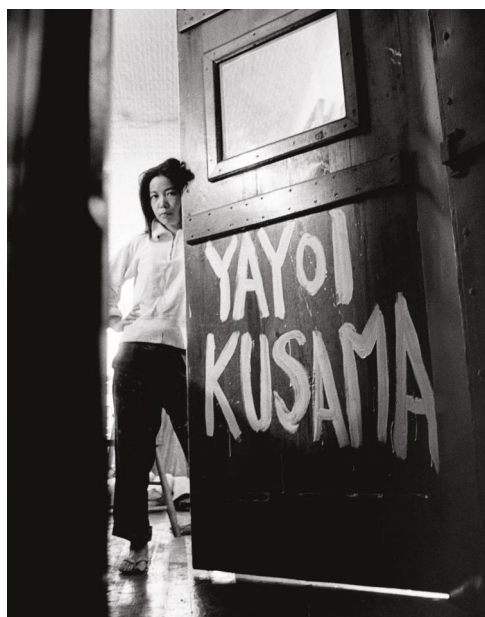
《無限の鏡の間—ファルスの原野》に立つ草間。「フロア・ショー」(リチャード・カステラーニ画廊、ニューヨーク)のインスタレーションビュー、1965年。

〈画像クレジット〉

The artist in Infinity Mirror Room

Image credit © YAYOI KUSAMA

© YAYOI KUSAMA edited by Doryun Chong and Mika Yoshitake published by Seigensha Art Publishing 2026.



ニューヨークのスタジオに立つ草間、1960年頃。

〈画像クレジット〉

Kusama in New York studio

Image credit © YAYOI KUSAMA

© YAYOI KUSAMA edited by Doryun Chong and Mika Yoshitake published by Seigensha Art Publishing 2026.



「オープンエア ’94 “Out of Bounds” 海景のなかの現代美術展」のオープニングで《南瓜》の横に立つ草間。ベネッセアートサイト直島、1994年9月15日。

〈画像クレジット〉

The artist with Pumpkin

Image credit © YAYOI KUSAMA. Image courtesy of Benesse Art Site Naoshima. Photo: Shigeo Anzai.

© YAYOI KUSAMA edited by Doryun Chong and Mika Yoshitake published by Seigensha Art Publishing 2026.

